

芸香

ス、コレモヒシト云、皆形ニヨルナリ、蒺藜ハ海濱沙地ニ多シ、山中ニハ生ゼズ、苗地ニ就テ四布シ
直立セズ、葉ハ大巢葉ニ似テ狭ク厚ク、深綠色ニシテ毛アリ、互生ス、夏月葉間ニ五瓣ノ黄花ヲ
開ク、形蛇合花ニ似テ大サ三分、花後子ヲ結ブ、大サ三分許、ソノ形或ハ三角或ハ四角、角ゴトニ皆
刺アリテ人ヲ刺ス、五六子圓ニナラビ、一莖ニ生ズ、生ハ綠色、熟スレバ白色、秋ニ至リテ苗根共ニ
枯ル、今藥肆ニ賣ル所ノモノ皆眞物ナリ、藥ニ入ニハ刺ヲ去ル、沙苑蒺藜ハ和産詳ナラズ、古來ク
サ子ムニ充ル説ハ穩ナラズ、

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

出雲國五十三種略○中 決明子、蒺藜子各二升、播磨國五十三種略○中 蒺藜子、蜀椒各三升略○下

〔倭名類聚抄二十〕芸 禮記注云、芸音雲、和名久佐乃香、香草也、

〔古名錄十八〕久佐乃香倭名類聚抄、漢名芸香草本、今名ヘンルウダヘンルウダ

伊勢家集ニ、式部卿宮のせんざい合に、草のかういろかはりぬるをらつゆは心おきてもおも

ふべきかな、トミユルハ、全ク當歸オホゼリヲ云、當歸ハ秋ニ至黄ミ、枯ル芸香ヘンルウダハ、四時不枯、秋ニ至テ色變

ルモノニ非ズ、然レドモ和歌物語ニ草の香トアルハ、皆大芹ニシテ當歸ヲ云ル者ナリ、

〔大和本草九〕雜草ヘンルウダ。近年紅夷ヨリ來ル、是紅夷ルウダナリ、紅夷人ハ是ヲ用テ食品ニ加

ベ、其香氣ヲ助ケ、他食ノ惡臭ヲ去コト、日本人山椒ノ葉ヲ用ルガ如シ、葉ハ細ニシテ莖ノ本木ノ

如シ、三四月ニ黄花ヲ開ク、四出ニシテ一片ノ間、各一蕊ヲ出ス、花ノ心ニ實アリ、岩梨ノ實ニ似タ

リ、夏實ノル、其年子ヲマケバ來年花サキ實ナル、其莖葉根冬不枯、此草常ノルウダノ性ニ相似テ、

性猶スグレタリ、ツ子ノルウダヨリ惡臭甚シ、故ニ草ハ別ニシテ不相似トモ、ルウダト稱ス、又鳥

ノ病ヲ治ス、

〔草木育種後編下〕藥品芸香夢溪筆談、牛芸群芳譜、和名くさのか和名抄、俗にヘンルウダといふは、番名リユ